

平成29年 病害虫防除指導情報 第8号

作物名：ジャガイモ
病害虫名：疫病

ジャガイモで疫病の発生が確認されています。
薬剤防除の徹底によりまん延を防止しましょう。

1. 疫病の発生状況

- (1) 6月中旬の巡回調査では津軽地域、県南地域ともに発生が確認されなかったものの、6月26日から28日に行った巡回調査において、津軽地域、県南地域ともに発生が確認された。発病株率及び発病度は平年よりやや高く、一部のほ場では広い面積に病斑が見られている。
- (2) 6月中旬以降、断続的な降雨が続いたことから、発生が助長されたものと考えられる。なお、発生状況から初発は6月5半旬前後であったと推察される。
- (3) 東北北部は6月21日に梅雨入りしており、今後、本病のまん延拡大が懸念される。

表1 6月下旬巡回調査におけるジャガイモ疫病の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	平均	
				甚	多	中	少		発病株率 (%)	発病度
6月下旬	津軽	本年	7	0	0	0	42.9	42.9	7.7	1.9
		前年	5	0	0	0	0	0	0	0
		平年	9	0	0	0	8.9	8.9	2.0	0.5
	県南	本年	21	0	0	0	19.0	19.0	3.3	0.9
		前年	16	0	0	0	18.8	18.8	3.5	0.9
		平年	20	0	0	1.0	17.4	18.4	3.2	1.0
	県計	本年	28	0	0	0	25.0	25.0	4.4	1.2
		前年	21	0	0	0	14.3	14.3	2.7	0.7
		平年	28	0	0	0.6	15.7	16.4	3.0	0.9

注) 発生程度：甚 発病度76以上、多 同51~75、中 同26~50、少 同1~25

2. 防除対策

- (1) 発生が認められているほ場では、早急に治療効果の高い薬剤(ジメトモルフ剤、シモキサニル剤、ベンチアバリカルブイソプロピル剤等)を散布する。
- (2) 発生が認められていないほ場でも予防散布を徹底し、発生を確認した場合にはまん延防止のため、5~7日間隔で薬剤散布する。
- (3) 本病は曇雨天の日が続くと急激に蔓延するので、雨上がりの薬剤散布を徹底する。
また、降雨が続く場合には、散布間隔が7~10日以上あかないように降雨の合間をぬって実施する。
- (4) 同一系統の薬剤の連用を避け、作用機構の異なる薬剤をローテーション散布する。
- (5) 薬剤は下葉に達するように十分量を丁寧に散布する。



写真 巡回調査で確認された病斑

----- 農薬を使用する際には必ず最新の農薬登録情報を確認してください -----

短期暴露評価の導入により使用方法が変更される農薬は、登録内容の変更前であっても、変更後の使用方法で使用する必要があるため、変更の有無を次のWebサイトで確認してから使用してください。

農林水産省「農薬情報」 http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/

(独) 農林水産消費安全技術センター「農薬登録情報提供システム」
http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

《この情報に関する問い合わせ先》-

青森県病害虫防除所 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 担当：佐藤主査